

2020.4.1 発行

あした 第5号



発行元：宗像市福祉ボランティア活動連絡協議会
TEL：0940-37-4100(宗像市ボランティアセンター)

全体研修会

“手をつなぐリボンの会”との交流

昨年12月10日(火)芦屋町に視察研修会で伺いました。参加者は32人。午前は芦屋町のボランティア連絡協議会“手をつなぐリボンの会”との交流研修、午後は芦屋窯の里見学、昼食はトト市場で海鮮丼等をいただきました。天気も良く楽しい一日でした。

“手をつなぐリボンの会”は平成12年6月に結成され、6団体、200人余りの会員で構成されています。交流会には芦屋町からも30人ほどの会員が参加しました。

◎意見・情報交換交流会(グループミーティング)

両市町の参加者が9グループに分かれ、『ボランティア活動をする上での心構え、課題等』について話し合いました。初対面の人とのミーティングでしたが、ボランティアを始めたきっかけや、活動をしながら思っていること等、率直な意見交換ができました。ボランティア活動を続ける上では、自分が楽しむ、無理をしない、それぞれが自分のできることを分担する、等の意見が出ました。また、他のボランティア団体の人との意見交換で普段接することのない人の意見を聞いて良かったとの感想も聞かれました。



◎影絵鑑賞

会議に先立ち、“メルヘン”さんの影絵「さるかにばなし」が上演されました。映し出される猿、カニ、白等は全て手作り、全体の造作からカニのハサミ等細部まで特徴を捉えた動きが素晴らしかったです。



“ミニ講習会”

1月24日(金)午後、メイトム宗像でミニ講習会と交流会を実施しました。参加者は23人。普段は交流の少ない他のボランティアグループの人との交流を深めました。

『ボランティア始めの初め』というテーマで、パネルディスカッションを行い、その後参加者が4グループに分かれグループ討議を行いました。

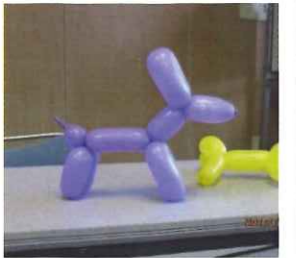
- ・パネラー：山田(ひよっこ)、田中(おもちゃ)、大和(にじいろ)、関本(ボラ連)
- ・ファシリテーター：水島(ボラ連)

パネルディスカッションでは、パネラーに『今どんな活動をしているのか』、『ボランティアを始めたきっかけ』等について話をしてもらいました。ボランティアに対する思

い、始めたさまざまなきっかけ、ボラ連以外での幅広い活動を聞くことができました。グループ討議では、ディスカッションの感想、自分のボランティアの原点、現在の活動、ボラ連に対する考え等の意見交換をしました。



ミニ講習会後の交流会では、バルーンアートに挑戦。風船で‘犬’を作りました。初めての経験でおっかな、ビックリ。手足のバランスもいろいろでしたが、楽しく作りました。



ふくおか“きずな”フェスティバル

2月16日(日)、ふくおか“きずな”フェスティバルが春日市のクローバープラザで開催されました。ボラ連からは22人が参加しました。

【つながりあうことの大切さ】

いつも学ぶことの多い一日となる「きずなの日」。みんないっしょにバスで移動し、美味しい「ヒサモリ」のお弁当を食べるのも、ボラ連に入っているからこそ。今年もまたたくさんのことに気付かされ、感謝することばかりでした。



基調講演では「貧困」について考えました。必死で働いても、標準の半分にも満たない収入では、子どももたくさんの我慢を強いられています。「お金がないから遠征に行けない。シューズが買えないから部活に入れない。でもお母さんには言えない。だってお母さんが困るから・・・」切なくなりました。そしてこの貧困の連鎖を断ち切るためには実は政治の力が必要。貧しさの中で苦しむ子どもたちに私は一体何ができるのか考えさせられました。

新型コロナウイルス対策も、弱者にしわ寄せがきています。知り合って、つながりあって、学びあって、少しでもやさしい町、暮らしやすい町にしていきたいですね。さあ、みんなでがんばりましょう！(ボラ連：水島)

第36回 ボラ連総会 中止のお知らせ

今年度のボラ連総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、やむを得ず中止といたします。総会議案につきましては、今回は特例としてグループ代表に書面にて表決して頂きます。どうぞご理解のほどよろしくお願いいたします。(会長：坂梨)